

CASBEE® - 建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	福岡センターVII 新築工事【倉庫棟】	階数	地上2F
建設地	福岡市東区蒲田3丁目742、746、748	構造	S造
用途地域	市街化調整区域 <特定 流通業 等>	平均居住人員	4 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年6月 予定	評価の実施日	2019年3月6日
敷地面積	9,346 m ²	作成者	佐々木 優
建築面積	4,570 m ²	確認日	2019年3月27日
延床面積	8,691 m ²	確認者	三好 朋子



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 63%

③上記+②以外の 63%

④上記+ 63%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.1

Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 1.3

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.6

3 設計上の配慮事項	
総合	空間の形状・階高はゆとりを持ち、照明はLEDを採用する計画としています。
その他	0
Q1 室内環境	0
Q2 サービス性能	主要な設備機器・配管の耐用年数は20年以上、空間・荷重のゆとりを持っている為、建物を運用維持しながら柔軟な長期計画を持つことができます。
Q3 室外環境 (敷地内)	隣地境界線付近には低木・芝を計画し、屋外受変電設備と隣地境界線との間には低木と中・高木を設けています。
LR1 エネルギー	照明は全てLEDを採用し、消費電力を抑えています。
LR2 資源・マテリアル	オゾンを破壊するフロン・ハロンを用いた消化設備の設置はありません。有害物質を用いない計画としています。
LR3 敷地外環境	燃焼機器の使用せず、大気汚染へ配慮しています。トラック搬出入経路を大きく確保し、荷捌きスペースを設けています。敷地内での車両動線が重ならないよう計画し、周囲の交通環境に配慮しています。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される